

## 談 想

## 鮎川満業總裁と語るの會

・ 康德7年8月29日 大和ホテルにて

・ 參會者 鮎川満業總裁、町田道路司長、寺師直轄工事科長、黒田地方工事科長、  
新川交通部參事官、瀬戸交通部技佐、大島交通部技佐



交通部に於ては高速度自轉車道路計畫、第三次國道計畫、特殊道路改良計畫等、道路交通の再検討、乃至は自動車交通への新らしき發足へ向つて種々研究を進めつゝあるが、道路と密接不離の關係に在る自動車問題（特に滿洲に於ける自動車の生産及び保有に就き）の將來を知悉する目的で、鮎川満業總裁並びに自動車關係の主腦部より、今後の情勢及び方針の一端を開き、尙道路行政に携はる者より要望を披瀝しようといふ懇談會が上記の如く開かれた。

町田道路司長から産業開發計畫には當然輸送計畫が織込まるべきであるが、従來の開發増産計畫には

兎角輸送問題が等閑視されて來た、重點主義國策、（生産力擴充を中心する）遂行に當つては資金資材は勿論のことであるが、諸般の基礎建設の中に輸送計畫が重要部門として取上げられなくてはならぬ。…等々に就き力説されたが、鮎川總裁は之に對して一流の卓見を披瀝された。

「第一次五ヶ年計畫遂行に當たつては、特に道路港灣の如きを急速に整備擴充すべき必要があつた。事業家側としては當然政府に於て然るべき方策が樹立され具體的に進められてゐるものと考へてゐたが、之に對しては遺憾な點がある。道路の如きも強力なも

のを必要とする。鐵道のみでは充分な輸送は出来ぬ。例へば米國邊に注文した機械で重工業のものではワン・ピース (One piece) 150 噸にも達するものがある。此れ等は大连から陸揚して奉天迄運搬するのに、アメリから大连迄の輸送日数より多くかつた例もある。而も永く一地點に放置して置くと上家も必要となる……或は部品が盗まれる等で、其の部品を再注文すると又二三年は懸る。斯う言ふ事になると一つの機械が揃ふのに五六年も懸ることになる。だから凡そ國の欲する如き重要國策的の遂行には横方向の緊密なる連絡が必要であつて各部門開のエキスパートが集まつて総合的に立案する必要がある。ある一つの目的のために資源開發の問題、發電の問題、臨港工業都市の問題、輸送の問題、資金資材勞力の問題等がある。此の内すべてがある期間にある程度揃つて進まなくては駄目で、全體計畫は最も遅れたものの爲めに制肘を受ける此點先程の意見と全く同じである。

又苟しも統制經濟をやる限り、之に關聯せる一切は完全なる統制へ向つて足並を揃へなくてはならぬ。例へばセメント製造といふ重要な建設的基礎物資が自由經濟へ委ねて置いて誰も之の責任者が無い等といふ事はナンセンスであつて、國家が責任を以つて生産計畫を樹立し、圓滑配給を企圖しなくてはなるまい。他のものが全部用意されてセメントが充足出来ぬ爲めに、一切を變更し又實行不能に陥ひる事などは誠に遺憾である。

自動車道路問題の如きも緊急に迫つて見て着手しようとなるとセメントが不足だ資金がない等といふことになる。日本では從來當然やれる様な時には仲々取上げられぬし、必要が迫つて來た時には物や金の關係で出来にくいといふことが多い。此れは何處に缺陷があるかといふことは今更言ふても仕方がないが

此の點獨逸などは實にうらやましい。必要な計畫の爲めには一切のエキスパートが相寄り立案計畫する。従つてやつてゐる事に無駄が少い。日本滿洲を通じ今一段の徹底した統制計畫が必要である。

然し乍ら物事には一度失敗するといふのも良い經驗で兎角第一次開發計畫が云々される様だが、全く自由主義に永い間馴らされた日本人が急に統制經濟に入つたのだし、大陸經營の指導的地位に置かれたのだから此點若干のロス (Loss) は致方ない。寧ろ今後に期待しなくてはならぬ。恐らく誰がやつても此ういふ結果であらう。又大東港の問題なども、技術的に何んとか言ふ風な意見もある様だが、あの港があるのとないのを考へて見給へ。〇〇億の事業の全體から見れば、試錐工事見だいなものので掘り當れば大したもの、失敗したからと言ふても之は決して Loss に終はりはしない。港灣に恵まれぬ滿洲としては成功する時の事を考へてやるべきが當然と思ふ。直木さん等も斯う言ふ意見をも持つてゐられるのではないかと思ふ。」

此の邊から鮎川總裁は話題を各方向に轉じられ、滿鐵等へも言及された。

「滿鐵も自身からも考へ又日本及滿洲國としても充分考へねばならぬ。滿鐵が滿洲の他の特殊會社の様に政府から配當に保障を與へられておれば、今一段と國策的に進み得ると考へられる。自分で儲けて自分で建設改良維持をし、尙國策的に動くといふ事になると經營が困難となる。斯ういふ事態ではある線の輸送が逼迫して來ても大々的の補強計畫など困難になる。算盤の取れる鐵道經營といふ事にすると収益の上らぬ建設線、又は既設線に餘裕を持たしむることに困難となる。之は松岡總裁時代からやらうとしやらないであることだが、之等も大陸交通運輸の上から充分考慮されるべき問題である。若し之の儘行でくとすれば道路交通は一段と強化されなくては

ぬと思ふ。」

極めて明瞭な卓見で參會者一同全く同感であつた。此の邊かから黒田科長、鮎川總裁の米國大使の風説近衛内閣の新體制運動に關し質問する。

「米國大使説か。あれは松岡君がちよつとモーションをかけて見た丈の話さ。又近衛内閣樹立の時、僕が重要進言をしたつて？曰く言ひ難しだ。兎もあれ日本は今東亞新秩序の大業の責を負ふてゐる。國民の一人一人が勝手なことを言ひ勝手な行動を許されぬ情勢である。獨逸は全體主義國家の故でもあるがを、計畫の途上では討議批判も行はれるが、一旦決定したヒツトラの政策には絶對何人と雖も批判しない。誠に見事な統制振りである。日本は獨逸と國情も異なるが政府の方針は國民全體の強力な意志の反映であり、之の方針が決定したら絶對追いて行かなくては駄目である。職務階級の別なく今や凡てが此の時局を乗切る丈の確たる決心がなるてはならぬ。」

此の邊の鮎川總裁の言語には烈々たる國土風な態度が偲ばれた。斯かる事業界の第一人者が、飽く迄國策的に動かうとする氣運は東亞協同圈の確立へ實に大いなる意義を有すものとして深い感銘を與へ

た。

現内閣に村田省三氏、小林一三氏等の實業界出身の閣僚があり、又日本の翼賛會の幹部に實業界出身の人々の名を見受けられるが、實業界の人々が國家の民族の、東亞の爲めに動きつゝある事は新體制への一段の拍車ともならう。

最後に自動車生産問題に移り、日米關係と自動車資材の見透し、今後の滿洲自動車生産方針、等に關し實状を話され、大陸には特に自動車工業を興すことの必要を話された。そじし十年以内に相當の自動車を製造することにならうと結言された。

尙當日は米國から歸られた同社事業部長が都合で御出にならかつたのは残念であつた。

鮎川總裁は仲々口の堅い人であるといふ噂に反し當日は實に雄辯で終始され、政財界の表裏隔なく論ぜられた感があつた。

一同大和ホテルで總裁自身の會食の饗應を受け長時間總裁私室を占領したことを感謝し、自動車で送られまでした次第である。

尙本懇談會は黒田地方工事科長の斡旋に依り多忙の鮎川總裁が時間を都合して下さるに到つた事を附記して擱筆する。(瀬戸記7. 10. 7)

## 自然界の理法

水力電氣建設局技佐 古川 四郎

今や秋も既に深く、燈火の讀書に倦みて、姑く思ひをめぐらせば、犇々として我の腦裡の扉を叩くの心地がする。數理の問題の根底には深い形而上學的問題が潜んでゐる。否深い人生問題も之に接觸してゐると。私の理想は徹底的は生活を實行したいことである。私は長い月日の後には如何なる瞬間に於ても、考へてゐる事及び實行してゐる事が自然界の法則に一致するやうになりたくある。常に正しい清らかな心を

以つて生活したい。

公人としては、誤つた考へや、あまりにも常識に否められた卑俗な偏見を脱して正しく物事を考へて之を實行して見たいことである。理論をもたないまゝの日常的知見は卑俗な經驗主義へ走る慮れがあるから、人を使ふ時に仕事本位と同時に人も我も數理的研究態度に重點を置くことに因り仕事もよく出来るといふとになると平素信じ、力めてゐる。

直線は二點間の最短距離であると初等幾何學の公教理がへる(球體に於ては夫等の點と球の中心とを含む平面と球面と交はる線即ち大圓である)。A、B二點を繼ぐ直線は唯一本に限るが、曲線の數は無量大である。そこに裁判官や警察官が罪人亦是嫌疑者を白狀せしむる手段の原理が嚴然として存してゐる眞直に事實をありのままに陳述する者は、何度尋問されても些の相違もない。「これ直線は唯一本に限るから」

事實をはなれ亦は歪曲して陳述する不得心者は、幾度か問ひ糺される間に必らずや前後不揃が出て来る。直線以外は皆曲線で、曲線はA、B二點を繼ぎながらも無量大に存在するから前後數回の、その答辯が相一致する確率は不得心者の證擔の確率の數値を減少せしめて、遂ひにはそれを無限小に即ち零に等しくして了ふ事を示してゐる。即ち無量大で一定數を割りたる商は零であるからである。

確率論或は公算論とは或る事象が起るとか或る事實が存在するかを確實に知れない場合に、その確からさの度合を示す數を確率といふ。哲學者は之を蓋然率と稱へる。確率論を立派な數學理論として研究確立したのは、フランスの大數學者、哲學者にして氣象力學や流體力學に彼の名を冠せる法則として有名なパスカルとフェルマーである。殊にパスカルはその最初である。今から年400程前フランスの貴族の或る人が友人のパスカルに賭言の問題を持ちこんだのが發端であると傳へらる。要するに確率論は賭博に由來し常識を計算に直したる學問であるから、その根底を知悉することは數學者はもとより、哲學者、社會學者殊に我々土木の技術に司さるる者にとつて極めて必要なることは言ふまでもない。我々が確實に知ることの出来る小數の事物に於ても、即ち數學の如きものに於てすらも眞實に到達すべき主要

なる手段である歸納法と類推法とが確率論に基づいてゐる。いはんや誤謬にとらはれらしい觀察の總和に基いてゐる其他の科學にとつて如何に必要な補充物であるかと解る。

確率論は未來に對する信念の強さに關し、過去の經驗の評價又現在の知識の廣さにも關係がある重要な數學である。確率的豫言は日常生活のどんな問題よりも確かである。確率の理論が社會學的、經濟學的の問題に應用された例は極めて多い。その理論の重要な應用に保險といふものがある。保險加入者の何パーセントが保險金を受けるかことになるといふ計算は、その理論の根本が即ち確率論なのである。確率論による綿密な計算があつて始めて事業としての保險が、どれだけの利益を擧げ得るか見透される。保險は我々のいろんな錯覺、そういった感情の裏側に冷靜な數量的考察が準備されたものである。要するに、賭けをする人々は、競争相手の全部を眺めやうとしないで、自分一人を中心にして空想を逞しくする所から大きな錯覺が起る。その錯覺を利用する所にこそ始めて富籤なども成立する理である。

××債券賣出し

一等三千圓

此の幸運者は誰?

その一等三千圓なるものが十萬籤に五本とし、毎年二回の抽籤として一年に十本であるとすれば、一枚の債券を持つた人には、一萬年に一度しか一等の當る氣づかひがない。そこで一等三千圓、當籤一萬年に一回といふことになるが、そんなポスターを拵へたのではそれこそ債券の賣れのが一萬年に一回でせう。そういふ本當の理屈はだまつておいて一等三千圓といふことだけを餌にして、この幸運は?で射倖心をそゝるのが「とみくじ」なるものの本質である。射倖心をそゝるといふ點で債券も富籤と同じであ

る。或る番號だけが長く出なかつたとすれば、今度こそはそれが出そうな氣がして仕方がないのが人情で、人々は争つてその番號に賭金をするが、その番號が長く出なかつたといふことと、それがこれから出る確率とは全く何んの關係もないことを斷つておく。

現今犯罪捜査などに指紋が大いに利用されてゐることは周知の事實で、この指紋が一生變らないものであり、萬人が萬人異り、實際上世界全人口中に同一の指紋の人は居らないといふことは深遠なる確率論の理論が横たはつてゐる。醫者が病人の治療に際しての最善の手當法を知るには、同數の患者に対してすべての條件を正確に同一にして、色々な手當法を一つ一つ試みて見れば充分である。最も有益なる手當法の優越性は、この患者の數が多ければ多いほど益々明白になるであらう。そしてその計算によつて、その利益の對應する確率と、それが他のものに優れてゐるその程度の比の確率が知られるであらう一つの死亡表は人の生命の種々なる確率を表はすものであるから、死亡率が異常に増加して法則よりの偏奇が起るならば流行病其他の原因などに歸することが出来る。今日生物學者はその生命現象の研究に確率論の理論を應用しつゝあるとき。我々は生命の起原を直接に知ることは出来ぬ。併しそれだからといつて生命の起原について何等の觀念をも作り出すことが出来ぬといふことはない。丁度地質學者や生物學者が地質學的、生物學的諸事實より、過去における氷河時代の存在を知り得たる如く、天文學者地質學的、生物學的其他の現有知識を總動員することにより、生命の起原を或る程度までは知ることが出来るかも知れない。

生物學への數學の應用は多々あるが、就中進化論の數學的研究は最も華々しいと思ふ。ダーキンに起

つた進化の新哲學は夥しい多くの實驗、觀測及び理論が集積して多くの反對論者があるから確實な結論を成すことは困難であつたが、近年數學が應用せられて自然淘汰と生存競争とが人口統計力學と稱せられる新しい數理科學に基礎をおくに至つた。こゝに現れて來たのが上にいつた生物の力學である。この學問を十分研究するには汎函數解析學といふ高等數學が必要である今こゝに生物の一つの種族があつて、その個體の數をNとする。一種族が單獨に棲息する場合に、その増加の法則は次の微分方程式で與へられる
$$\frac{dN}{dt} = EN, t$$
は時間であつて、この左邊は個體數の増加係數である。この法則は人口増加率は現在の人口に比例するといふ所謂マルサスの法則である。然しこの法則は非常に抽象的な場合であつて、人口が増せばその増殖率が一般に減少することを考慮すると、上の微分方程式の右邊は修飾せねばならぬ。かうしてヴェルハルストパールの法則が出來た。以上は一種族が單獨に棲む場合であるが、今一般に草食や肉食動物の多くの種族が互に一つの環境に棲む場合を研究すれば一系の微分方程式を論ずるやうになる。ダーキンが獵は時として有益な種族に好都合であると言つたことも數學的に證明せらる。戦争で敵國人をどの程度に殺せば最も利益であるかといふことも亦研究出来るであらう。數學は恐しい學問である。

300年來の科學者の苦心と努力とが實を結び力學と幾何學上の諸發見は、萬有引力の發見と相俟つて、人間をして同一の解析式の内に、宇宙組織の過去、未來の状態を理解が出来るまでに至らしめた。同一の方法を知識の他の對象の上に適用することにより、既に觀察せられたる現象を普遍的な法則にまで引きもどし、與へられたる狀況が展開すべき現象を豫知することに成功せしめた。一切の出來事は、

その些細なるがために自然の大法則とは係はりのないやうに思はれ事でも、すべて皆太陽の回轉と同様その法則的必然の結果である。宜なるかな！彼の有名なるガレリオは宇宙は數學的記號を以つて書かれたる一卷の書であると叫んだ。語は甚だ簡單であるが、その含む所の意味は頗る深遠である。人の生死と人智の肯定如何にかゝはらず、これらの出來事を宇宙の全組織に結び付けてゐる微分方程式を知らないために、人々は天の怒りとか、無用の假定に過ぎない神の攝理に對する一證左として、心理學や精神病學や社會學の無知な一文半知の頭迷固陋の宗教家に胡魔化されて來た。が、そうした空想的原因は、我々の知識の限界が擴がると共に、次第に退き、正しい學問の前には全く消滅し去るのである。

議論は横道にそれるが、一體私は元から何事につけても非常に迷信を排斥してゐる。科學上の説明のつかない、科學上の證據のないものを因襲的隨力に過ぎない宗教とか神とかといふ觀念から信仰するといふ考へがどうしても起つて來ない。キリスト教や宗教に關する書物を相當に讀んど記憶するが、どうも私はあゝいふ科學上の説明がなくて、宗教に頭を突込んだり、神がかりするのを見て不思議に思はれてならない。理屈に於て許されるか若くは事實に證據について説明のつかないものを信じ得ない。一切の迷信を否定するものは、宗教を否定するものである。迷信なくして宗教はあり得ない。迷信は宗教的養分を吸收する毛根である。何等の理由なき因襲的迷信のために、我が人間社會全體が現に蒙りつゝある損害は、百萬の丙午の娘さんや其の姦達の困惑してゐる程度に幾倍してゐるか知れぬ。迷信こそは嚴肅なる人生問題である。少くとも有識階級の人々は、自分が丙午の娘を持つた心持ちになつて、迷信一掃に努力ありたきものだ。

宗教殊に親鸞も多くの宗教がそうであるが、現世ではよく來世に樂土を求め、現實を越した所に心の安住地を見つけ、往生淨土の信仰を説いてゐる。國家よりも社會よりも自分一個人の悩みの解決策を得べく、その求むる所は飽まで自分に既してゐる。宗教の一義的な所はその超國家、超現實的な點

にあり、一つの深い厭世觀なくして宗教はなり立ち得ない。現實の世界を漸進的に向上發展せしめて行く理想主義や文化主義とは根本に於て相容れないものであると信ずる。

私は嘗て精神的に懊惱苦悶の難關に逢着した時、その悶を神とか宗教とかに近づけやうとは微塵もしたかつた。人或は信仰的になり迎合したであらうが、私はニュートンの反作用の法則を知信して個性を嚴守した。膝を屈して迎合すると、自然の法則から卑屈な男として擯斥せらるゝ處がある。捨てられても個性を矯めずして泰然平然たる態度を執るがよい。私は派閥によつて人情の極めて微妙なる處を洞察することが出來たのを喜ぶ。炎涼によつて向背を異にするは人情の常であるけれども、思掛けない人が忽ち冷淡となり、疏遠となり輕薄となつたのみならず、浮雲の如き虎の權力に荷擔したやうな態度をとり、あられもない事を言ひ觸らしたり、彌が上に屈辱を加へやうとしたりしたのは一驚を喫せざるを得なかつた。極めて小數の人ではあるが、斯様に一朝にして掌を反すが如く變化しやうとは思はなかつた。人の最も同情を要するのは災難の時である。この時に當つて眞心を籠めて私のためにつくし、どうかして自分を窮境より救ひ出そうとした人がある。實に有難いことで死の瞬間まで忘るゝことは出來ない。苦難時代を追懐するに昇給のおくれたる悔は微塵もなかつた。

科學の進歩は人類の考へ方に及ぼした革新、之は自然科學は天地自然の世界に對する研究であり、原理原則の應用は器械の發明や製造に寄與する所が多く、人類の生活上に日々新たなる改良を加へるもの殆ど數限りないやうである。大自然の法則を數理の窓を透して觀めつゝ、猛然と日夜努力しつゝある自然科學者に向つて、我々は感嘆の情と感謝の念を捧げなければならぬ。

世の中は理屈通りになるものではないといふことはしばしば耳にする言葉であるが、實際は理屈通りに行はれないものは何一つもこの宇宙間には存在せずすべて宇宙の法則に従つて、ちゃんと理屈通りに行はれてゐるものであると信ずる。たゞ道理を充分

知らないで、生かじりのほんの一部分の理論だけですべて押し通さうとするから無理が出来て道理に反し、理屈通りに行かないやうに見えるにすぎない。一般的に承認せられてゐる所の科學理論をまで排斥するといふのは、私情を恣まいにするの極であつて、之は恐らく正氣の沙汰ではない。かくて自然科學的眞理にまで盲目であらうとすることの報酬は何であるかを、我々は危慮しないわけにはわかないのである。今日の如く、科學は急速に進歩發展を遂げ文明の賜物と謳歌せらるゝ、発見發明が、日に新しく實用化せられ利用せられて行くにもかゝはらず、一向に人類の幸福が増進せらるゝ形跡なく、かへつて世の中が荒れすさんでくるやうに思はれるのは何故であるか。之は科學を解せず、之を悪用濫用する結果に外ならない。之を悪用すれば、その弊害の如何に恐るべきかは、我々がしばしば経験するところである。科學の力の偉大なることは誰しもよく知つてゐる通りで、之を善用するか悪用するかは、人間社會を極樂に導くか地獄に化するかの境であり、その如何はこれを利用する人の人格如何にある。

今日大なり小なり我々が學校で學んだ學問は、學ばないよりはよいといふ程度で、宇宙といふ老大な書物を讀むには餘りにも僅少な準備工作に過ぎないのであるけれども、往々にして窮極だなどと思つては大なる間違だ。最も危険なるは己惚れた。自信を持つことはよいが、それが正しい認識の上に於てのみ始めて價值を持つ。己惚れは退歩である。果して盲目的な己惚れが我々の周圍にないと斷言し得るか。己の學問が他の人に冠たるものゝやうに錯覺を起したり、偉大だなどと考へることさへ困つたことだと思ふ。己惚れは進歩の敵だ。この心の敵の囚と

なることが最も恐しい。學者の己惚れは無論悪い。一種の職業意識からブロックを作り、大學で3年か4年専門の學科を修めて自分等の仲間入りしたものを玄入と見做し、順調の學校教育を受けないでやり上げた者をはるかに理論より遠いものとして素人扱にする。この職業科學者の定義に従へば、小僧から大學者になつたフアラデー、大發明家エヂソン、小學校卒業の學歴よりない大學者野口英世、小學校中退で退學の他に學校の門をくゞらないで、刻苦勉勵して世界的權戒と稱せられるに至つた牧野富太郎、窮措大いに身を興して整數論を完成して雷名を天下に轟かした大學々者、物理學者、天文學者を兼ねて世界を雄視したガウス等々々々も素人仲間に入れる外ないのである。現下の教育思想の下にあつては、大きな悪影響を受けて了つたと言つても過言ではない。學校教育はまことに人の發展にプレーキの役目である以外の何物でもなくなる。かくして養成されたる研究者は、先人の跡を追ひ、之を展開し充實する丈の役割を演ずるに止まる茲に至つて教育の幣は測り知れぬものがある。自ら絶對の眞理を體得した聖賢ではなくて、自他共に凡夫に過ぎないといふ謙遜な心から獨善を慎み、他人の説にも耳を傾むけ、之に對して寛容で、互にその意見を切嗟琢磨し、協調し、相補ひ、以つて完全な結論に到達しやうと力めなければならぬ。要するに科學的には植物と動物との區別がないやうに科學者には玄人も素人も區別はないのである。職業科學者の排他的イデオロギーに追從して、立派な科學者を素人呼ばりをしてゐることは認識不足の甚しきものと言はなければならぬ。本當の科學者は決して己惚は知らないと思ふ。

## オザリツトの眩き

大東港建設局技佐 赤木幹一

眞、善、美の最高条件を持つ都邑計畫を立案する事は決して出来ない。云ひ換へるならば或地域に計畫を立てる時最良最後の計畫案は決して求められない。都邑計畫とは深い深い常識……敢て常識と云ふ……を根柢とした綜合藝術である、藝術には定形はない。之を味ふ主観により眞必ずしも眞ならず善亦然り美亦然り。

× × ×

細腰の佳人の頬に點するに in digo と Gaean との混合色を以つてし或は Dominot 7TH の和音から Ro minor の主三和音に終止形を求めるの愚は深く深く常識が許さない。テヘランの迷路を我等が首都新京に再現して其のデフォルム美を味ふの愚は亦深い深い常識が許さない。

ならば此否定条件を無限に求めて残つた肯定条件を以つて都邑計畫の Sollen を規定し之を或る地域に適應する時は恰も計算器の如く計畫案が求められるか？ 求められるなら我等は計算器を五台つぶさうと十台つぶさうと構はない。現下貴重なる資金と資材とを消費する根本計畫を立てる我等は其の算出された計畫案の前に跪するであらう。

× × ×

子を育てて親の恩を知るの類か自分で都邑計畫をして、見て其の最上のもを掴む事が決して出来ない事を知り他の人の計畫を一言を以つて批評し去る事は決してするものでないと決心した。

× × ×

深い深い常識とは？

こゝに超人が居るとする、凡ゆる科學分野を極め盡くして之等を相關有機的に活用し得る超人が居れば都邑計畫立案者として最適任者たる事は間違ひな

い。然し人間は不幸にして生理的に凡ゆる科學分野を極める事は出来ない。拉し來るに一化學者を以つてし、彼をして計畫を立てしめると、CHを近隣單位とした龜の甲の連続した様な道路系統を立て、獨り悦に入るかも知られず、一土木學徒に設計を委ねると凡そ住人の情操陶冶施設を無視して只下水計畫を如何に低額豫算にまとめる得たかに得々たるかも知れず、結局都邑計畫立案者の資格はと云へば各科學分野の相當の深さまで掴み之を自由に活用し得る人と云ふ事になる、こゝで自分は深い深い智識と云けずして深い深い常識と云ひ度いのである。

× × ×

深い深常識、自分は慄然とする。

× × ×

飛行機が最も早く最も飛ぶにはあの翼が一番邪魔になる市街中の交通を理想的に考へて見ると道路が少い程善い。道路を少なくするには人が住まぬが良い。人が住まぬと市街は？……。

人類はどうしてこう我儘なのだろう、然しだからこそまだ人類は地球上に榮えるであらう。

× × ×

凡ての貨幣價値は勞力に出發して居ると斷言して善い、市街建設に幾億圓を費やすと雖も皆勞力の變形である、勞力の變形であればこそバリーもニューヨークも建設出来たのであつて金鑛の變形ではない或一國の不動集計勞力集計は少くとも有限である大都市を急に建設する事は勞力集計の空間的目つ時間的急激偏在を意味する。之は一大事だ。ローは一朝にして成らず……。



× × ×

あるまい。

國土計畫とは其の國の持つ勞力集計空間的時の、  
間的配置を、該國體の地球上存續否繁榮を來らしむ  
る様計畫する事だ。然し方法に最良のものを掴み得  
るだらうか？いや此の様な問題は自分輩の出る幕で

× × ×

安東の片隅から呟きの題にも似て口巾つたい事を  
並べすぎた様だ、雑念の片々を記したに過ぎない。  
水澄みて岩間の鯁砂を吐く。

### 水循環の量的見積

	立方料		纏	
	K.	M.	K.	M.
1. 海よりの蒸發	307,000	449,000	85,0	124,3
2. 陸よりの蒸發	81,000	62,000	54,4	41,6
3. 雨量	388,000	511,000	76,0	100,0
4. 海よりの蒸發	307,000	449,000	85,0	124,3
5. 陸へ向ふ蒸氣	30,000	37,100	8,3	10,3
6. 海への雨量	277,000	411,900	76,7	114,0
7. 海から傳る蒸氣	30,000	37,100	20,2	24,9
8. 陸からの蒸氣で海に流れるもの	71,000	—	47,6	—
9. 陸からの雨で海に流れるもの	101,000	—	67,8	—
10. 流れずに蒸發するもの	10,000	—	—	—
11. 流れない雨量	10,000	—	—	—
12. 海よりの蒸氣	40,000	37,100	26,8	24,9
13. 陸よりの蒸氣	81,000	62,000	54,4	41,6
14. 陸の全雨量	121,000	99,100	81,2	66,5

M Kaminky 氏による

M Meinardus 氏による

### ◆ 三江の今昔：――

×× 10倍になつた小學校、

佳木斯市を訪れた誰しもが想像外の市の建設振りに驚かされる。初めての人は勿論だが再度佳木斯の土を踏んだ人々は一様に僅かの期間によくも此様な素晴らしい發展をしたものだと驚嘆する。全く吾等の佳木斯市の建設こそ滿洲國發展の象徴であらう。3年前僅か70名に足りなかつた日本人小學校の児童も現在700名になつた。全く驚異的激増振りである。此處にも佳木斯市發展の一端が覗かれる。

×× 鑛山鎮

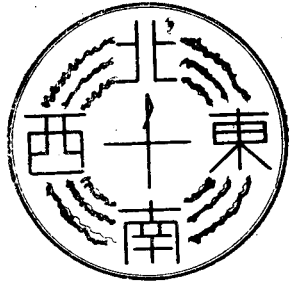
滿洲一の大炭都として待望される鑛山鎮の町も早くも人口5萬を突破せんとし耀やかなしい發足をした。時代の波に乗つて素晴らしい石炭の都が遠からず建設される事だらう。

×× 望遠鏡に映じた匪影。

3年前田舎の道路を建設して居る頃は土木科の連中は殆ど彈丸の下をくぐつたり、匪賊にも何度となく追ひ廻されたもので之が最後と覺悟したことも度々あつた。近頃地方へ出て匪賊の心配も要らず氣樂に走り廻るトラツクの中で3年前の望遠鏡片手に始終落ちつかず四方を眺め乍ら進んで居た頃の姿を想ひ浮べて實に有難い世の中になつたものだと、熟々感づる。これも軍隊や警察と苦勞を共にして道路建設に専念した吾々土木技術者の奮闘の賜物であらう。

×× 開拓團の布團

開拓民の數が年と共に増して來て全省到る所に「モンベ」姿が見受けられるやうになつた。地方へ出張しても開拓團のある所では疊の上へ暖い布團にくるまつて泊れるやうになつた。泥だらけの「アンベ」の上に虱の居さうな滿洲布團へ寝た頃を思ふと感慨



無量である。土地開發會社の濕地干拓工事の進捗につれて愈々開拓民の入住も盛んになるのであらう(三江省大月生)

### ◆ 住めば都の東安：――

×× 唾で顔を洗ふ。

人間なんて勝手なもので「住めば都」とか何とか屁理窟をつけて自分の住む

所が天下で一番よい所の様に思つてお國自慢の一つもやるやうになり、どんな不自由な生活も馴れてしまへば之が當り前の生活で一番良い事の様に思ひ込んで仕舞ふ。たまたま頭の良い奴が發明だとか、發見だとか、文化的だとか言つていろんなものを考へ出すもんだから、頭の悪い奴は舊殻を脱するのに骨を折り時には曲解して悲喜劇を生ずることになる。これは余談だがこんな具合で東安に足を踏み込んだ當初は之が人間の生活か、之が文化的の生活かと眞冬零下30度洗面の水も無く猫のやうに唾で眼を擦つて役所への途中國境の山を眺めて、よくもこんな端の端迄流れて來たもんだと暫し感慨無量な日もあつたが春來り夏過ぎて又極寒の候近づく今日になつて見れば總てが當り前で別に氣にする事もないやうになつてしまつた従つて「東安便り」も之を取り立つて紹介するとなると頭を30度傾けて見ないと出て來るものではない。

×× 都邑と道路

扱て東安便りを書くとなれば東安を紹介することになるのだが、今更東安省は康徳6年6月1日に誕生して其持つ意義は云々で位置は氣候は産業は交通は文化はと書き立てて見た所で我々の言ふことには余り權威が伴はめと言ふわけで先づ小さく省の土木科を概略紹介しやう。

先づ省の土木科の主管事務は、何れの省の土木科も同じ事で道路、河川、都邑關係が主たるものであ

るが東安省に於ては道路と都邑計畫が我々の仕事の百パーセント近くを占めて居る、而して道路は地方道路に屬するものと所謂開拓民道路と云はれる二つの部門に分れ都邑計畫は各縣に都邑建設局なるものを置き之が事務主體となり計畫實施中の都邑は密山縣に於て東安、鷄西、滴道、平陽、黑台の5ヶ都邑、虎林縣に於て虎林、林口縣に於て林口の各1ヶ都邑となつて居る。

#### ×× 1人當りの工事費14萬圓

之等道路、都邑を事業費より見ると地方道路が450,000圓開拓民道路が800,000圓都邑關係が約2500,000圓でこの都邑計畫事業費の中には東安、虎林の上水道各580,000圓、400,000圓が含まれて居る、之に従事する技術家の數は道路關係14名都邑關係12名計26名で1人平均約140,000圓の工事を受持つて居る事になる今之を假に總てを道路工事として考ると31キロ5,000圓の道路として1人平均約28キロの道路を調査測量し設計し監督し竣工することになるわけでの仕事量の適否は諸兄の判斷にまかせる次第である。

#### ×× 生甲斐を感じるもの

次に工事内容であるが之は何れも單純なもので道路に就いては單なる砂利道でありその附帶構造物もコンクリート管の水抜工に木橋、而して路面處理も時には工費の關係で砂利さえも敷く事が出来ないと云ふ具合で技術的見地より論ずれば實に採るに足りないものである、従つて技術家として橋梁を、堰堤をと夢見て居つたものには實に無味乾燥なものであらう、しからば我々は何處に生甲斐を感じて居るか？自分に云はせるとその道路の持つ使命に生きて居るのだと云い度い、技術的に見て幼稚な採るに足りない構造物であつてもその持つ使命が東安建設の第一歩であると思へば血湧き肉躍るのである。

都邑計畫は先に記した各都邑が事業實施中である

が特に注目される都邑は省公署所在地としての東安密山、炭田の中心をなす鷄西それに縣公署所在地としての虎林、林口、實施豫定の寶清の五ヶ都邑であらう東安、虎林、寶清の三都邑は北邊振興の波に乗つて上水道も出來、滿洲の田舎町としては先づ整つたものになる事だらう東安便りが廣い東安省全體に互つて仕舞つたが最後に東安街を少し紹介することにする。

#### ×× 再検討の東安街の人口

東安街は虎林線の開通と昨年六月東安省の新設に依り省公署の所在地となつたことにより急激な發展を見るに至つたことは周知のことである、而してこの都邑計畫事業は康徳四年に實施され當初三十年後の推定人口を五萬五千人としてその區域を決定し事業に着手したのであるが康徳六年六月東安省公署の所在地となるや人口の増加急激にして康徳六年末一萬を突破し、康徳七年十月現在既に二萬を突破するの勢を示して計畫當初の推定人口に對して再検討を要することとなり牡丹江の如き結果をさへ予想せられるに至つて居る一方諸施設を見るにこの急激な發展に後れ勝の感ではあるが本年度上水道の一次計畫を完成し一部給水の開始を見る事であり下水道も一部施工し明年度に於ては之等衛生施設は相當完備し新興都邑としては相當形を整へるものと思つて居る街路も舗装と云ふ事は材料等の關係もあり明年度と云ふわけには行かぬであらうが一線一線と砂利の厚さを加へて舗装の基礎を固めて居る、市民の娛樂設備も映畫館は最近の開館ではあるが約六百を入れる東安滿映館あり小規模であるが東安劇場あり滿系映畫館として明星電影院ありその他玉突、喫茶店、等左黨にはカフェー料理屋等、只住宅難は何處も同じで四疊半に二人三人の生活は二百五十戸の代用官舎が十一月中に完成したとしても續くのではないかと

思つて居る、以上くだらん事を書いて東安便りとする。(東安省、福島生)

#### ◆ 面目一新の齊々哈爾：——

御存じの通り惡道濕地を以て有名な齊々哈爾市内は今年度より向ふ三ヶ年繼續の都邑土木事業として市内幹線道路の築造並に排水路の掘鑿は着々實行に移りつゝ有り既に完成の道路は「ペノリツク」舗装にして巾12米延長 1,300米水路は上端巾6米深さ3米内外延長六料にして従來と趣を異にし多少面目を一新したるに付き北滿御出張の節は御見捨なく是非當市にも御立寄御評判に御指導の程を御願申上げます。(齊々哈爾市、岩城生)

#### ◆ アムールの河畔黒河：——

北緯五〇度アムール川を距て「ソ聯」を指呼の間に望み得る國防省としての土木科全員90名は道路建設都邑の實施、都市防水、水道工事に一致團結其の完成に最善の努力をやつている。(黒河省、細江生)

#### ◆ 黒河省に孫吳あり：——

私は昨年9月北海道廳札幌土木事務所より都邑建設局長として赴任致し零下50度の寒さを一冬體驗した内地では零下50度と聞いた丈でもびつくり致しますが實際體驗して見れば思つた程でもありません。

着任當時は局員も極少數で實績も上つては居りませんでしたでしたが本年になつて多少人員も整つて來まして大いに之から仕事をやつて見様と思ますが孫吳の都邑は他に比して待遇が劣つて居るものか人心移動の傾向があります。

此の點に就て私共も善處致度いと考ますが中央に於ても特に諸考慮して頂き度いと思ます。(黒河省孫吳、清水生)

#### ◆ 對岸との明朗化を期待す：——

黒龍江を溯江する上流呼瑪迄の江岸の風景は一丈と素敵だ9月上旬から中旬に掛けて紅葉の頃は殊に

良い明澄な大江に映えて黄から紅に更る樹々の美しさ西比利亞の曠野で悠ん風流を味ふことは予期しなかつた、だが船は江岸沿線に來年五月迄の越冬物資の輸送を終了して燃料の薪を豊富に積込んで十月中旬限り哈爾濱指して下航して了つたので一般交通は杜絶の状態だ、今年春から肉類缺乏に惱まされて居るが今冬は採暖用の薪に窮乏する事は必定だらう山林が多いのに解せない話だ然し昨今對岸との明朗化が滿更夢でもないうしいのを唯一の希望としてゐる。(黒河省、永峰生)

#### ◆ 孫吳を護る堤防

國を治むるは水を治むるにあり治水工事は我が國の産業開發上最も必要なる事業だと思ふ、黒河省では孫吳都市防水工事として康徳六年より三ヶ年繼續事業として今盛に工事完或に努力してゐる。明年度には完或の見込み(永峰生)

#### ◆ 西北の邊境を征く：——

此の度次長に隨行し西額旗東額旗の視察に9月23日より2週間の豫定を以て海拉爾を出發致しました東額旗々公署所在地は當地より北方一八〇軒(ナラムト)にあり西額旗々公署行はナラムトより尙北方三七〇軒(キラムト)にあります自動車運行はナラムト、キラリン、古納間400軒(2日)乗馬にて古納、ジャガタ、荒火地、キラムト間150軒(3日)あります道路狀況は建國以來何等施設せる事なく放棄の形でありまして通行に非常に困難でありました最も困難なる區間は乗馬の古納、キラムト間でありまして一日も早く建設完成を痛感して來ました、歸途はアルウン河の沿岸を來ましたが之れ又問題になりません數ヶ所河の中を通らねばなりませんので増水期には通行途絶の狀況であります、全く交通の圓滑を欠き従つて行政の運營上非常なる支障を來して居ります故中央政府に於ても何分御援助實現方を取計下さる様

御願する次第であります、先づ西額旗の状況を簡單に御承介致します。

本旗は光緒元年より開發を始め居住せる住民は山野の棲林族を除く外少数なる砂金採掘及狩獵遊居無定なる人民にして光緒の末項北洋礦務局の設置を見るに當りまして漸次採金業の活況を來たし工夫1,000餘名となりましたため各地より往來する者日毎に増加し始めて村屯の集成を見たのである、運河流域に沿ひ卡倫(驛站)設置されて駐兵し國境を守備する様になりました。當時本旗名を珠爾甘河と謂ひ總卡倫が管内九ヶ所の分卡を統轄し民國9年に至り奇乾設活局が設置され亦民國11年奇乾縣と改稱され黑龍江省呼們貝爾道に隸屬し我國建立後も舊政によりましたが大同二年に至り黑龍江省より興安北省に劃完せられ奇乾辦事處と改稱し同年11月に至り額爾克納右翼旗と改稱されたのであります。本旗の地勢は南部高く北部及西部は比較的低く中部は狭くして南北は約500里、東西150里、面積は75,000平方里でありまして人口は約1,000名にして平方里當り0.005強と云ふ數字となり當地の人口稀薄は問題になりません。人口の内譯は滿人2,355人、日人47名、白系露人235人となつて居ります。産業方面で主なるものは木材、砂金、獸皮等で農業は自家用として他方面に輸出する産額はありません。

以上述べた通りの状況で交通機關の促進と相俟つて産業の増産計畫を樹立し旗民の安定を計る可く考慮中であります。(興安北省、木津生)

#### ❶ 冬期津貼不足：——

海拉爾はもう寒くつた、9月26日に初雪あり此の分で行くと冬期津貼を一ヶ月餘計に頂かなければならん勘定になると思つてゐたらその後割に暖かい日が續きホツとした氣持である。此のホツとした氣持は今年の春から時々味はされた。解氷期に二回洪水が

出て本格的に工事に着手したのが五月末その後夏は幾分出るとホツとする間もない中に凍結だ何しろ年平均温度-2.4度と謂はれる處だから南滿とはちと趣が違ふ。工期に追はれて見る夢と味氣のないものばかりである。

毎日苦力の顔ばかり見てゐると情操教育上香くないと得手勝手な考を持つてゐたら北邊振興事業西北部關係者の懇談會が齊々哈爾で開かれた。北安省金山科長なかなか時宜を得た案を出されたと思つてゐる黒田地方工事科長から晝休みの四十五分間に何か書けと言はれた、私は折悪く齒を痛めてゐるので食事をして尙且つ物を書くのに45分はちと僅約過ぎると思つたが洋の東西共電撃流行の時代であるので、心臓で書き始めて見たが、もうこれ以上は書けそうもない。黒田科長の能辦能文が羨ましい。(興安北省、本田)

#### ❷ 興安東省土木のあらまし：——

本省の土木事業は康徳五年八月省公署が開設せられると共に土木股に於て其の五ヶ年計畫を樹立致し早速事業に着手致しましたが、何様豫算の關係と時期の問題で年内には仕事らしき仕事も出來ずに終りました。六年度は局部的の道路建設並びに改良工事に着手し稍活氣を呈して参りましたものゝ土木行政機構、土木股たる爲人的不足や其の他にも伴ひ施工上一方ならぬ不便を感じて居ました處本年五月一日土木科に昇格致し諸準備も調ひ愈々本格的事業に乗出し其の目的達成に邁進しつゝあります。

殊に本省は最近境堺變更により國境に接する事となり國防上重要欠べからざる所となりました、豐沃なる曠野は開拓民の入殖地に適し、其の他資源開發に將來を屬望されて居ります。尙明八年度には準北邊振興省として一大飛躍の時期が参りました、其の内土木事業の發展は又見るべきものがあります。参

考の爲土木行政開始以來の概要を次に記載します。

1. 工 費

康徳5年度	47.000圓	人員5名
康徳6年度	430.000圓	人員12名
康徳7年度	1,500.000圓	人員32名

2. 康徳7年度實施箇所

札蘭屯—索倫線(札蘭屯—林ノール)……	180軒
札蘭屯—布西線(札蘭屯—那吉屯)……	70軒
嫩江—龍頭山線(嫩江—五家子)……	50軒
國境道路……	65軒

3. 省政3ケ年計畫

康徳8年度	656軒	4,670,500圓
康徳9年度	605軒	3,914,000圓
康徳10年度	592軒	3,825,000圓
計	1,853軒	12,409,500圓

(興安東省 徳永生)

◆ 雉の車撃ち：——

東安に着いて工程處で「ぜんざい」を喰べ省公署に挨拶に行つたりして居たらいつの間にか時計の針は4時を廻つて居た。北滿の冬の日足は早い。都合で明朝8時には牡丹江に向はねばならない。交通部東安土木工程處長大石閣下が「1時間でも道路を見る」と言ふ。「行かう」と二つ返事で林口の方向に向つて乗用自動車飛ばす。途中閣下の公館に寄つて臘銃を持つて行く。成程立派な道路である。北滿の道路でこれだけの道型と路面を持つて居る道路は稀れだ。車はまつしぐらに走る。町をはづれて30分位來たと思ふ頃閣下は突然運轉手にストップと命令。同時に車の中から銃を構へた。見ると30米位前方の高梁を刈り取つた畠の中に首の白いのがチツと立ちどまつて居る。まさしく雄雉だ。そんななまくらなことで當るものかと思つたのでドアを開いて外に飛び出しざまに「外に出て撃てよ」と叫んで見た。處が意外

にも閣下は「外に出るな」と叫び返へす。トタンにズドンと一發。雉はバタバタと飛び上りあとには砂煙が残る。それ見たことかと思ふ。残念だが仕方がない。ボヤキながら車の中に入る。「君が外へ出たから雉が飛び上つたのだ。今度居たら車中にチツとして居て呉れ」との閣下の御小言。内心腕の拙いのを人の精にする卑法な閣下よと思つたが郷に入つては郷に従へよだ。沈黙を守る。車を走る。運轉手が「あそこに」と叫んで車をとめる。居る。3,4羽鶏のやうに遊んで居る。閣下は坐つたま、窓から銃口を差出して構えた。ズドン。轟然と車中にひびく。確かに手ごたひがあつた。1羽はもんどり打て大地に跳ね廻る。成程閣下の言は眞だと思ふ。人影にはおびえて飛び上る雉も車の姿には驚かない。先ず初獲物を仕止めて幸先よく更に車を走らせる。助手台に居る保木技士が「其處に」と叫ぶ。指さす方を見たが姿は見えない再び「其處だツ」と言ふ。見ると成程側溝の先に居る。距離は5米もない。白襟巻り伊達姿で悠然とこちらを見て居る。閣下は「君撃て」と言ふ。「よしツ」と銃をとつた。然し生れて初めての鐵砲撃ちだ。銃身を窓硝子に支へさせて台尻を肩にあてた。閣下は「頭をねらへ」と注意する。轟然一發。手應ひはあつた。保木君がセバードのやうに助手台から飛び出す。持ち歸つたのを見ると見事に成長した雄雉だ。全くうま相だ。だが残念なことには餘りに頭部をねらひ過ぎたのと距離が短かつたので無慘に頭が飛んで居る。慘酷でも構はない。天晴れ雉撃ちの名手になつたやうな氣がする。但しそれは車撃ちの名手である。車を飛ばすこと1時間。既に四邊は薄暗にとざされたので大急ぎで歸路に着く。1時間で撃つた玉の數は8發獲物は5羽。内3發で2羽は駆け出しの射手の手柄であつた。(黒田)